



007号(2011年9月19日)

目次

千葉大会迫る!

第2回協同教育カフェ in 大東

初年次教育学会大会でメイン・シンポジウムを開催

岡山県個集研夏季研修会を開催

九州支部主催研究会のお知らせ

出版情報

WS<ベーシック>を開催!!

千葉大会迫る!

本年度の大会プログラム、タイムテーブルがすべて決まりました。ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。 <http://jasce.jp/index.html>

なお、定員を設けた「ワークショップ」は残席に応じて、先着順に当日受付を行います。

初日の「基調講演」では、本大会実行委員長の上杉賢士先生（千葉大学教授）が「プロジェクト・ベース学習が育む学びのオーナーシップ」について講演されます。プロジェクト・ベース学習（PBL）では、学習者の発達のニーズと学びの環境を合致させねばなりません。その際、学習者にも教師にも学びのオーナーシップが必要です。講演では、講演後に行われる千葉中学校発表会を念頭にいれながら、学びに必要な条件としての「自律性」と「関係性」について焦点をあてます。

2日目の「記念講演」では、宮本みち子先生（放送大学教授）が「社会を学ぶ、社会で学ぶ-若者の実態からみた教育改革への期待-」と題して講演されます。『若者が<社会的弱者>に転落する』の著者である宮本先生は、

現代社会における若者問題に関する国際比較研究が専門です。講演では、ポスト工業化時代の若者の実態と若者政策を国内外の比較を通して紹介し、教育の課題について論じていきます。

●学会事務局よりお知らせ

学会事務局では、学会大会開催中、日本協同教育学会の年会費の受付も今年度分に限り行います。なお、過去にさかのぼって納入されたい方は、事前に事務局 office@jasce.jp に問い合わせして下さい。

第2回協同教育カフェ in 大東

7月30日（土）「協同教育カフェ in 大東」を午後2時より大東市立市民会館で開催しました。遠くは福岡県や鳥取県からも参加され、大東市の教職員16名を含めて45名の参加者がありました。



大東市は平成21年度より「学び合う」授業づくり推進事業をスタートし、中学校5校、小学校10校の研究指定校を日本協同教育学会の指導講師8名が担当し、小・中学校が連携しての授業改善研究を進めています。

今回の協同教育カフェでは、大東市の小・中学校の授業実践を報告し、全参加者が10グループに分かれて論議が交わし、“子ども主体の授業づくりはできる”との確信を得ることが

できました。最後に杉江先生より“地域づくりを協同学習で”との方向性も示していただき、大東市の協同学習実践の新たなスタートを切ることができました。

初年次教育学会大会でメイン・シンポジウムを開催

8月31日～9月1日に、第4回初年次教育学会大会（久留米大学、福岡県）で行われました。その大会企画（企画者：安永先生）として、JASCEの会員が「初年次教育と協同教育をつなぐ-理論と実践-」をテーマにシンポジウムを行いました。シンポジウムでは、安永先生の趣旨説明の後、関田会長が協同教育と初年次教育の関係を説明し、続いて3つの事例報告（LTD 学習法（古庄先生）、ジグソー法（緒方先生・上野先生）、PBL チュートリアル（長田先生））を行いました。質問では、LTD 学習法を用いた際の学生の自主学習の時間が多すぎる点など、素朴な疑問から始まり、協同教育への参加者の関心は非常に高いものとなっております。

アクティブ・ラーニングがますます重要視される現代の日本の高等教育において、とりわけ、初年次教育での導入という点で、JASCE から大きな風を吹かせるシンポジウムになったと感じました。



JASCE

岡山県個集研第15回夏季研修会を開催!!

実践家と研究者との研究会である「全国個を生かし集団を育てる学習研究協議会」の岡山支部夏季研修会が、8月8日(月)に「ピュアリティーマキび」で約100名の参加者を得て開催されました。初回から15年を数える今回の大会テーマは「響き合う子どもたち」でした。午前の部では関西学院大学教授であり全国個集研理事でもある南本長穂先生から「共に学ぶ教育をめざして」と題し、個集研が提示する学習集団論の歴史的な経緯とその

現在について講演を頂きました。続く午後の部では津市立中央小学校の神田豊先生をお招きし、「自分を見つめ主体的に自分を高めようとする授業づくり」と題し、ご自身の授業実践をビデオでご紹介頂きながら、それを支える実践理論とその創意工夫について発表して頂きました。この発表に基づくグループ討議では活発な意見交換がなされました。特に今年は高校の先生方に多くご参加頂き、授業改善をめざす先生方の課題意識が校種

を超えて共有された大会となりました。最後に岡山個集研顧問の高旗正人先生から「学習意欲の低下や学力低下、暴力行為等々の様々な教育問題を解決するために、いかに個々の教師が自らの授業を改善し、子どもたちのもつ教育力を引き出すかを考え続けてきたのが個集研である」ということが確認され、盛会のうちに閉幕しました。

高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

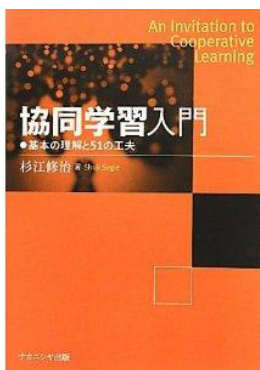
●九州支部主催「授業づくり研究会・久留米」のお知らせ

9月17日、日本協同教育学会九州支部主催の「授業づくり研究会・久留米」が行われました(久留米大学)。詳細は次号にて報告します。次回以降は、10月22日、11月26日、12月17日を予定しております。いずれも土曜日午後1時から5時までで、久留米大学1000号館6階・資料室となっております。資料の準備等もごございますので、ご出席を希望される方は、事前に安永先生にご連絡をお願いします。yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp。

なお、安永先生からは「だからといって当日参加を拒むつもりはありません。その日になって、気が向いた場合もどうぞ、遠慮なくお越しください」との一言が添えておりました。お気軽にご参加下さい。

●出版情報

杉江修治先生の『協同学習入門ー基本の理解と51の工夫ー』がナカニシヤ出版から発刊されました(A5版、164ページ)。実践例がたくさん入れ込まれ



ており、すぐに役立つ本になっています。その一方で、なぜ協同かという根本的な問題についてもわかりやすく解説してあります。具体的な内容は、1.学習指導改善の視点、2.協同学習の理解、3.さまざまな協同学習、4.学びあいを促す51の工夫という4部構成になっており、さらに用語解説などの「コラム」があります。出版社ホームページには、「形ばかりの『活発な授業』に陥らないために、本当の効果を生み出すための原理を丁寧に解説し、授業で工夫すべき51のポイントを具体的に紹介する」とあります。定価は1,890円(税込)です。千葉大会など、JASCEのイ

ベント会場では特価で販売します。

●WS<ベーシック>を開催!!

8月27日(土)、28日(日)の両日、協同学習ワークショップ(ベーシック)が南山大学(名古屋)で開催され、32名の方が参加しました(主催:南山大学人間関係研究センター)。講師は、長濱文与先生(三重大学)と石田裕久先生(南山大学)。参加された方々からは、「『協同』の理念が理解でき、自分の実践の改善点が発見できた」「グループ学習はやったことがあるが、適切な指示ができていなかったなど、たくさんの反省点が出てきた」「多様な世界で奮闘するメンバーの話は自身の視野を広げると共に新しい視座を与えてくれた」等の感想が寄せられました。

